

# 23年度歳出の特徴と工夫

No.

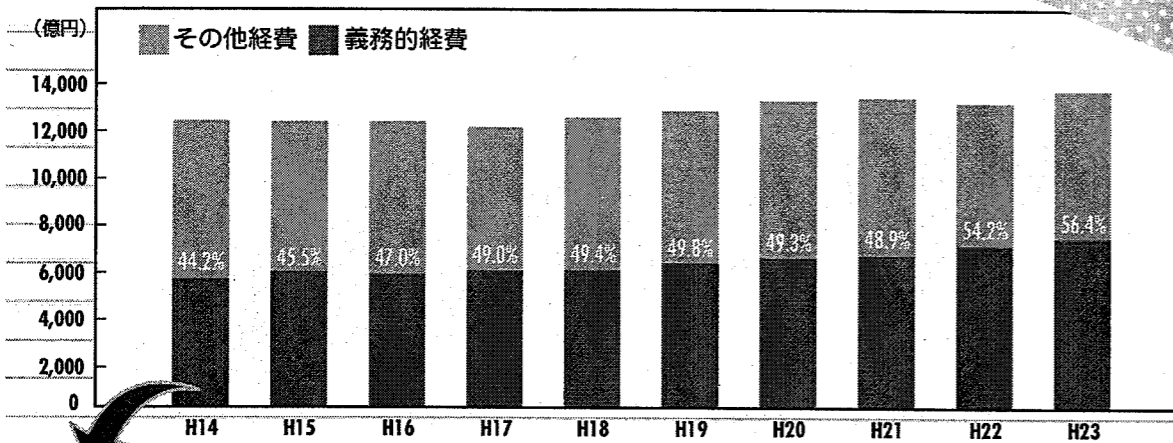
Date

## 23年度歳出の特徴

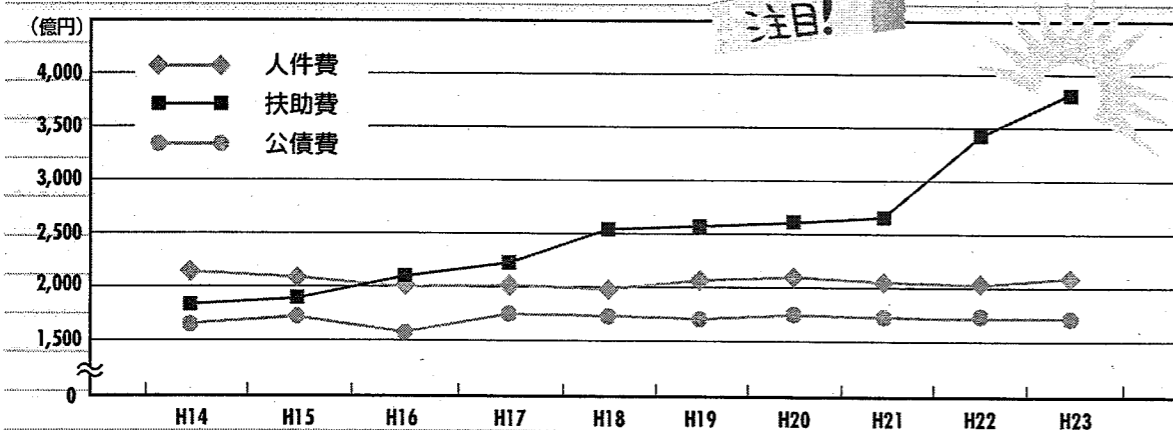
**義務的経費の増大** 必ず支出しなければならない経費は、年々増えています

23年度予算では、人件費・扶助費・公債費を合わせた義務的経費が全体の56.4%となり、過去最高の非常に高い割合になりました。なかでも、福祉・保健・医療のための経費である扶助費が大幅に伸びており、対前年度13.6%もの伸びになっています。

### 一般会計歳出総額に占める義務的経費の推移



### 義務的経費の内訳

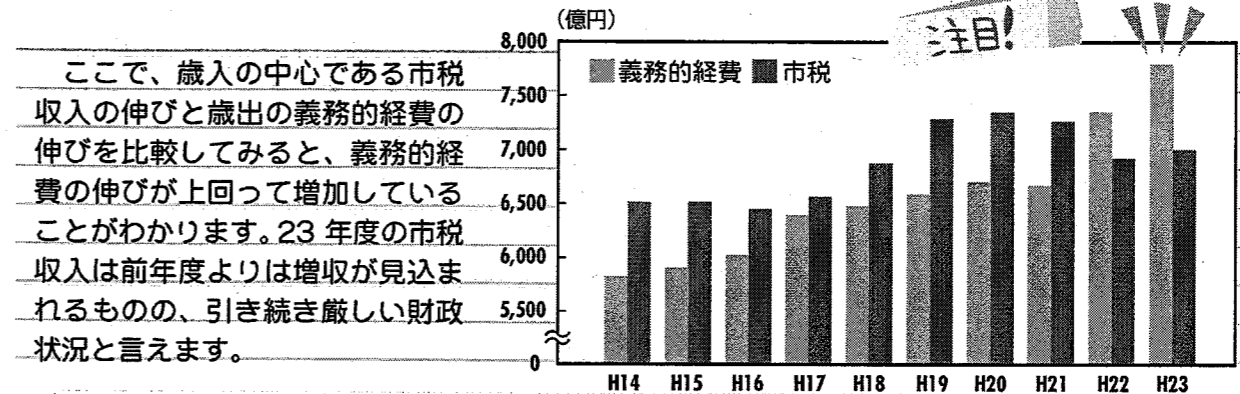


#### 義務的経費、何?

義務的経費とは、法律などで支出が義務付けられていて、削減することが難しい経費で、この割合が高いほど、自由に使えるお金が少ない、厳しい財政状況ということになります。

No.

Date



ここで、歳入の中心である市税収入の伸びと歳出の義務的経費の伸びを比較してみると、義務的経費の伸びが上回って増加していることがわかります。23年度の市税収入は前年度よりは増収が見込まれるものの、引き続き厳しい財政状況と言えます。

義務的経費は、子育て支援や生活保護の増、高齢化率の増などへの対応から今後も増加が見込まれており、その状況をふまえた財政運営が求められています。

## 23年度の歳出を抑える工夫(やりくり)

### 事業の見直し

職員福利厚生事業費の縮減など、内部経費を削減しました。また、新たにいくつかの外郭団体が保有している現金資産を市に寄附してもらったり、資産を取り崩して市からの補助金を減らすなどの取組を行ったほか、各事業の徹底した見直しにも取り組み、合計655件、80億円の経費縮減を実現しました。

### これまでの事業見直し等の縮減効果額

	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23
市役所内部経費の削減	145	83	92	149	54	51	40	31	36
事業の見直し	-	99	79	41	30	35	56	91	42
受益者負担の適正化	-	4	19	8	6	11	2	0.1	2
合計	145	186	190	198	90	97	98	122	80

#### 義務的経費にはどんなものがあるの?

たとえば、こんなことに予算を使います

- 生活保護費**  
生活に困っている人々に、最低生活費を保障しながら自分たちの力で生活できるよう援助します。
- 保育所の運営**  
保育が必要な子どものために、保育所を運営します。

